

2017年1月18日  
武田テバファーマ株式会社

## 効能・効果および用法・用量の追加に関するお知らせ クロピドグレル錠 25mg「テバ」、クロピドグレル錠 75mg「テバ」

武田テバファーマ株式会社(本社:愛知県名古屋市、CEO 兼社長 松森浩士)は、クロピドグレル錠 25mg「テバ」およびクロピドグレル錠 75mg「テバ」につきまして、本日1月18日付で下記の効能・効果および用法・用量の追加承認を取得したことをお知らせいたします。

今回の追加承認により、先発医薬品との適応不一致が解消され、先発医薬品と同様に処方していただけるようになりました。

### 記

効能・効果	<ul style="list-style-type: none"><li>・虚血性脳血管障害(心原性脳塞栓症を除く)後の再発抑制</li><li>・経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患 急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) 安定狭心症、陳旧性心筋梗塞</li><li>・末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制</li></ul>
用法・用量	<ul style="list-style-type: none"><li>・虚血性脳血管障害(心原性脳塞栓症を除く)後の再発抑制の場合 通常、成人には、クロピドグレルとして 75mg を 1日1回経口投与するが、年齢、体重、症状によりクロピドグレルとして 50mg を 1日1回経口投与する。</li><li>・経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される虚血性心疾患の場合 通常、成人には、投与開始日にクロピドグレルとして 300mg を 1日1回経口投与し、その後、維持量として 1日1回 75mg を経口投与する。</li><li>・末梢動脈疾患における血栓・塞栓形成の抑制の場合 通常、成人には、クロピドグレルとして 75mg を 1日1回経口投与する。</li></ul>

(下線が追加された適応)

以上